

名取市文化会館の 新型コロナウイルス対策

2020年1月末に発生し、世界的に流行している新型コロナウイルス感染症により、名取市文化会館でも施設の利用制限や公演の中止、延期が相次いだほか、感染拡大防止のためご利用のお客様にも多大なご協力を頂いております。ここで、会館で実施している新型コロナウイルス感染症防止対策をご紹介します。

～施設編～



サーマルカメラ

メインエントランス、サブエントランスの2か所に2台ずつ設置しており、入館の際に体温の測定をお願いしております。また、館内に手指消毒用のアルコールを設置しております。



空気清浄機

大・中・小ホールの楽屋を含む各施設に設置しております。また、リハーサル室や音楽練習室は定期的に扉を開放して換気を行っております。



飛沫防止パネル

リハーサル室および音楽練習室に設置しており、飛沫による感染防止にご活用いただいております。また、パネルは常時消毒を行っておりますので、どうぞ安心してお使いください。

～公演編～



アルコール設置

会場入口前にアルコールを設置し、ご入場前に手指の消毒をお願いしております。



検温

スタッフにより非接触型体温計でのお客様の検温を行っております。



来場者調査票

万一感染者の発生が確認された場合のため、ご来場のお客様にお名前やご連絡先などの情報の提供をお願いしております。

チケット

接触による感染を防ぐため、チケットはスタッフで目視確認ののち、お客様ご自身で切り取って頂いております。

配布物

プログラムやアンケートなどの配布物は、お客様ご自身でお取りいただいております。

ご利用、ご来場の皆様にはご不便ご迷惑をおかけいたしますが、感染拡大防止のためご理解ご協力をお願いいたします。

交通アクセス

- ・仙台空港アクセス線「杜せきのした駅」より徒歩8分
- ・JR「名取駅」より徒歩17分

※タクシーをご利用の場合はJR「名取駅」が便利です。

※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせてご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。

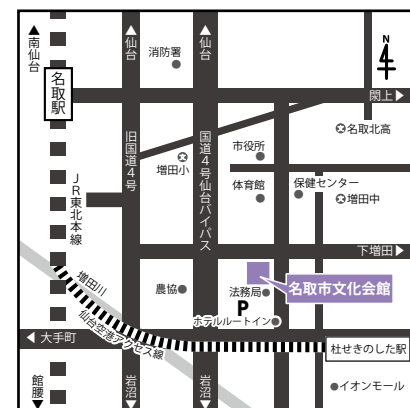


公益財団法人名取市文化振興財団

〒981-1224 名取市増田字柳田520
TEL 022-384-8900 FAX 022-384-6684
(第1・3火曜日を除く9:00～18:00)

ホームページ: <http://bunka.natori.or.jp/>

Twitter Facebook ▶ 名取市文化会館



文化の森

特集

Art for Kids@なとり わくわくパビリオン 企画本部インタビュー

新事業スタート!!

名取市文化会館で語る ふるさとの昔ばなし

- 「新・名取寄席part8@文化会館 落語と浄瑠璃は“深い仲”」開催レポート
- 2021年度 公演スケジュール
- 名取市文化会館の新型コロナウイルス対策

ぶんかのもり

vol.52
2021.4

企画本部 インタビュー

毎年恒例となっている、「Art for Kids@なとり わくわくパビリオン」。2020年は新型コロナウイルスの影響で、秋に延期され規模を縮小しての開催となりましたが、たくさん親子連れが来場し、楽しいひと時を過ごしました。そんな「わくわくパビリオン」を中心となって企画しているのが、仙台高等専門学校名取キャンパス建築デザインコースの学生の皆さんです。今回は、2020年度のリーダー佐竹皓基さん、2021年度リーダーの加藤美鈴さんにお話を伺いました。



▲加藤美鈴さん

▲佐竹皓基さん

企画部、様々な壁に突き当たることもあると思うのですが、色々なことを判断し決めていく中で何か大事にしていることはありますか。

佐竹 自分目線ではなく遊ぶ側の子ども目線を一番に、いかに楽しんでもらえるか、いかに興味を持ってもらえるかを大事にしています。自分が子どもだった時のこと思い出しながら、どんなものがあったら楽しめるのか考えています。その上で、実際に文化会館をどう使うのかによって、より魅力的な空間やイベントになるようにと企画をしています。学生たちも子どもだった経験があるので、自分の感情を子どものころに戻して考えています。

加藤 私は「文化会館だからできる遊び」が考えられたいなと思っています。公園とか遊園地みたいに、遊ぶために作られた場所とはまた違う遊び方を子どもたちに体験してもらいたいなと思っています。劇場は、小さい子やお母さんたちにとってはあまり身近な場所ではないと思うので、パビリオンがきっかけでこういう場所があることを知ってもらって、身近に感じてもらうことを大事にしたいなと思っています。

秋頃から春にかけての長い準備期間で苦労したこと、あるいは当日子どもたちと触れ合いの中で、嬉しかったエピソードなどあれば、お聞かせください。

佐竹 準備段階では、子どもたちが安全に遊べるように材料や作り方を工夫していくことが大変でした。子どもと大人ではスケールが違うので段差が大きかったらつまずくとか上りにくいか、ちょっと大きいものだとか掴みづらいとか…スケールを合わせるのは製作を進める上では大変で苦労した点です。でも、当日は子どもたちがすごく楽しそうで、ヘトヘトになるくらい遊んでいて、製作した遊び道具が壊れるくらい（笑）。頑張って作ったものが壊れてしまうのは、ちょっと心痛いところもありましたが、そこまで夢中で遊んでくれるんだなと思うと、すごく嬉しいです。子どもたちが皆、笑顔で帰ってくれるのが毎年のやりがいでした。



頑張って作ったのにという気持ちもありつつ、でも子どもたちが思いっきり楽しんで遊んでいるという証ですね。加藤さんはいかがですか？

私は、自分たちが作ったものや考えて企画したもので、実際に子どもたちが楽しんで遊んでいる様子を見ると、やってきて良かったなと安心します。考えている時や準備で作っている時は、本当に楽しんでもらえるか不安で…当日になってみないと分からないので。だから、楽しんでもらっているのを自分の目で見れるのがうれしいです。会場に入ってきた時の子どもたちの「どこに行こうかな!」ってわくわくしている様子も嬉しくて、その雰囲気も楽しいです。



2021年わくわくパビリオン

2021年のArt for Kids@なとり わくわくパビリオンは、「冒険」をテーマに楽しい企画が盛りだくさん!! ゴールデンウィークは文化会館で一緒に遊ぼう! 日時: 5月3日(月・祝)~4日(火・祝) 大ホール 10:00~15:00

不安を抱えながらも頑張って準備してきた皆さんにしか味わえない喜びだと思います。では、改めて佐竹さん、今年のパビリオンを振り返っていかがだったでしょうか

今年は、新型コロナウイルスの影響で、規模を縮小したり感染対策をとったりと、例年とは違うことも多かったのですが、新たな1回目という気持ちでやりました。この世の中で、子どもたちが来てくれるのか不安もありましたが、会場で楽しそうに遊んでいる子どもたちの姿に、変わらないものは変わらないんだなと思いました。

自分一人ではなく、高専のチームや文化会館の職員の皆さんと一緒に出来たからこそうまくいったと思うので、とても感謝しています。今年は1日だけでしたがその時間だけでも子どもたちやお母さん、お父さんに楽しんでもらえてよかったです。



最終年にリーダーとなっていくがでしたか？

リーダーと言われて最初は不安でしたが、引っ張っていく立場になって、色々と考えていくようにもなりました。3年間、先輩たちと見てきた経験もありますし、リーダーになったからこそ、自分のやりたいことを少しずつ主張していきたいという思いもありました。もしかしたら少し強引に企画を進めてしまっ、後輩たちには迷惑をかけてしまったかもしれないけど、最後までついてきてもらえたので、何とかやり遂げることができてよかったなと思います。

経験値があるリーダーだからこそ、後輩の皆さんもついていこうと思えたんでしょうね。本当にお疲れ様でした。それでは、そのバトンを受ける加藤さん、2021年度に向けての抱負をお願いします。

2020年はイレギュラーのことがたくさんあって、「今まで通り」が通用しなかった分、大変なことも多かったのですが、新しい経験で学べたことも多かったのもので、その経験を2021年度につなげていきたいです。新型コロナウイルスの影響がある中でのイベント開催は、2021年も続いている状況だと思うので、今までのパビリオンの経験も生かしながら、この状況を逆手にとって、今だからこそできる楽しいアイデアが出てくるんじゃないかなと思います。

お二人とも、ありがとうございました。2021年のわくわくパビリオンもお楽しみに！



新事業スタート!! 名取市文化会館で語るふるさとの昔ばなし

名取市文化会館は「名取昔ばなし語りの会」の皆さんとともに、新しい事業をスタートさせます。



市民団体「名取昔ばなし語りの会」は、名取に伝わる民話や伝説を語り継いでいこうと活動しています。その昔、家庭で祖父母や親から子へ語られていた民話。メディアが普及した現代では、人の声だけで物語を想像させる語りを聴く機会は減ってきたかもしれません。しかし、子どもたちへ語り掛けるそのひとは、大切な家族の触れ合いの時間だったのではないのでしょうか。

そんな昔ながらの家庭の文化を大切にしている「名取昔ばなし語りの会」の皆さんと一緒に、『名取市文化会館で語るふるさとの昔ばなし』事業を始動します。歴史の深い名取の地に語り継がれてきた民話に、多くの方に親しんでもらえるよう、文化会館小ホールを会場に、年4回の計画で、季節に合った語りをお届けします。風土豊かなこの地で生活してきた人々の暮らしぶりが織り込まれた、貴重な伝統的文化資源である民話。名取昔ながらの民話に触れ、ここで暮らしてきた先祖に想いを馳せてみませんか。皆さん、是非ご来場ください。

○スケジュール
1回目 7月31日(土) 14:00開演
2回目 10月16日(土) 14:00開演
3回目 12月18日(土) 14:00開演
4回目 2022年3月5日(土) 14:00開演
小ホール 入場無料



ゲストとして日本民話の会より遠野出身の太平悦子氏を迎え、語りの本場から「遠野物語」などを披露します。



語りの様子

新・名取寄席 part8@文化会館

落語と浄瑠璃は“深い仲” 開催レポート

2021年2月28日(日)に「新・名取寄席part8@文化会館」を開催しました。毎回異なるジャンル同士によるコラボレーションをテーマとした文化会館オリジナルの寄席シリーズ「新・名取寄席」。2013年度のpart1から毎年冬に開催し、様々な芸能の魅力をお届けしています。8回目となる今年度は「落語と浄瑠璃は“深い仲”」と題し、古くから人々に親しまれてきた「落語」と「浄瑠璃」のコラボレーションで開催。出演者にはNHK大河ドラマ「いだてん」への出演でお馴染みの古今亭菊之丞さん、義太夫節に竹本京之助さん、鶴澤賀寿さんをお迎えしました。最初は京之助さん、賀寿さんによる「義太夫節コーナー」。義太夫節についての解説を交えながら実際の演目が披露されました。義太夫節で使う道具や演目の内容についてなど、分かりやすいお話しに



より理解を深めながら鑑賞いただきました。その後、古今亭菊之丞さんも登場して、落語と浄瑠璃のそれぞれの聴き方や楽しみ方などについてのお話がありました。そして休憩のあとは菊之丞さんによる古典落語の名作「寝床」。義太夫語りを趣味とする大家の旦那と、それを取り巻く人たちの愉快なストーリーを、菊之丞さんの熱演でお楽しみいただきました。お客様には、2つの話芸を分かりやすい解説と共に間近でお楽しみいただき、より親しみを持っていただく機会となったと思います。さて、次回の「新・名取寄席」は一体どのようなコラボレーションとなるのか、今からとても楽しみです。ご来場をお待ちしております!!



2021年度 公演スケジュール

Art for Kids@なとり わくわくパビリオン
5月3日(月・祝)~4日(火・祝) 大ホール 10:00~15:00
入場無料 ※直接会場へお越しください。

名取市文化会館で語る ふるさとの昔ばなし

1回目 7月31日(土) 14:00開演
2回目 10月16日(土) 14:00開演
3回目 12月18日(土) 14:00開演
4回目 2022年3月5日(土) 14:00開演
小ホール

出 演: 名取昔ばなし語りの会
ゲスト: 太平悦子(日本民話の会)
入場無料 ※直接会場へお越しください。

能・狂言体験ワークショップ

9月13日(月) 小ホール 14:00~

講 師: 坂真太郎 他
入場無料 ※事前申込制
協 力: 国立能楽堂

松下奈緒コンサートツアー2021“PLAY LIST”

10月1日(金) 大ホール 開演時間未定

出 演: 松下奈緒 他

復曲能「名取ノ老女」 狂言「舟渡鯉」

10月3日(日) 大ホール 14:00開演

出 演: 大槻文蔵 金剛龍雄 野村萬斎 他

東混ソリステン

11月7日(日) 中ホール 15:00開演

出 演: 東京混声合唱団メンバー

トルヴェール・クワルテット コンサート

12月5日(日) 中ホール 14:00開演

出 演: トルヴェール・クワルテット
(須川展也・彦坂眞一郎・神保佳祐・田中靖人)
小柳美奈子(ピアノ)

避難訓練コンサート

12月19日(日) 小ホール 14:00開演

出 演: エスポワール・フォレ
入場無料 ※事前申込制

新・名取寄席part9@文化会館

2022年2月26日(土) 小ホール 14:00開演

出 演: 神田織音(講談) 鈴木啓吾(観世流能楽師)